

上海「ミニ」通信

(北九州市 上海事務所から中国・上海の「今」をお伝えします！)

(上海で生活している限りあまり実感はあまりありませんが) 中国は経済成長の減速が続いていると言われていいます。そんな中で、政府は、輸出やインフラ整備・不動産投資に偏った国内経済を内需主導に転換しようとしています。今回は、そんな政策転換の一端を上海で見つけたので、皆さまにレポートします。

平成 28 年 9 月 7 日

【第7回】「爆買」ブームは、中国国内でも起こるのか？

【今日のポイント】

- ◆中国人の海外旅行者はどんどん増えている。1人が海外で使うお金も世界トップクラス。
- ◆中国から見れば、「海外での消費＝国内の富の海外流出」
それを中国国内に呼び戻すために実施している主な政策：①輸入品の関税引き下げ、②旅行者が持ち込む商品への関税引き上げ、③自由貿易試験区などを活用した輸入品の通関・物流の優遇 など。
- ◆その一環として、上海で海外からの帰国者向けの免税店を先月開業【⇒海外旅行者もお買い物は中国国内で！！】

1 そもそも中国人は海外でどのくらいお金を使っているのか？

「爆買」という言葉が流行語大賞になったのは昨年末。(最近では中国人の購買意欲も下火になってきたというような日本のマスコミの報道もあるようですが) とりあえず現状の事実を整理したいと思います。

中国政府の推計では、昨年一年間で中国人が海外で使ったお金は約 1.2 兆元(約 18 兆円)。

中国人が外国でどれくらいお金を使っているかの一例として、日本での支出を調べると、中国人の旅行者数の多さ、買い物に使う金額の大きさが際立っています。(本市にもよく来ているタイ人と比較してみました)

【昨年日本に来た中国人】約 5 百万人(2003 年の 10 倍以上に急増) [タイ:約 80 万人]

【訪日外国人一人あたりの旅行消費】

日本政府観光局 (JNTO) 調べ

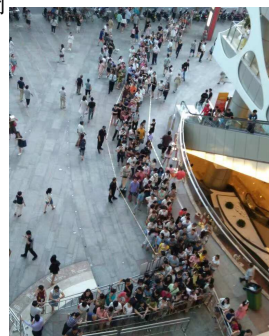
	旅行総額	うち宿泊費	うち飲食費	うち買い物
中国	264,997 円	46,975 円	39,311 円	151,293 円
(比較)タイ	128,036 円	35,375 円	24,468 円	47,276 円

2 中国で(まずは上海で)起こっていること

政府は、中国人が海外で使っているお金を国内で消費させようと、輸入品の関税を引き下げたり、輸入時の通関や物流も優遇措置を準備したりと、色々な政策を打ち出しています。

その一環として、国務院(日本の内閣府に相当)の下部組織が、先月、上海に海外からの帰国者向けの免税店を開業しました。

直近の 180 日以内に海外から帰国した中国人が免税で商品が購入でき、100 以上のブランドを揃え、通常の免税店に負けない品ぞろえをしているようです。



開店当日に視察に行った弊所の藤田副所長の話では、長蛇の列で入店できなかったほどの人気だったようです。

本当に自国民の消費を中国国内に呼び戻そうとするなら、輸入品の関税引き上げのような目先の対策ではなく、国内製品の信頼性向上や、偽物の流通の制限などに、じっくり取り組むことのほうがはるかに重要ではないかと個人的には思います。その一方で、日本の大手化粧品や食品メーカーなどの中には、関税引き下げなどの中国政府の動きを活かして、有力ネット通販内に直営サイトを設けるなど中国国内での販売拡大に取り組むところも見られます。

中国人の消費動向は(企業規模、業種にかかわらず)市内の企業への影響が大きいので、引き続き注視し、中国国内でも様々なことが最初に起こる上海から、今後も本稿などを通じ、情報発信を続けていきます。